



ROCK PAINT

061-7500番級

2液型 サビカット®

弱溶剤系変性エポキシ樹脂プライマー

高 防 食 性

鉛・クロム化合物を配合せず

付着・浸透力大

ターペン希釈型

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます。



ロックペイント株式会社

「2液型サビカット」は、付着性および浸透性にすぐれたターペン可溶タイプの特変性エポキシ樹脂を使用した高性能のサビ止め塗料です。従来からある二液溶剤型エポキシ系サビ止め塗料の性能は維持し、使いやすさを向上させており、鉄鋼構造物の新設塗装や塗り替えに大きな威力を発揮します。

特長

1 すぐれた浸透性と防錆力

浸透性にすぐれた特変性エポキシ樹脂の使用で、付着、浸透性にすぐれ、すぐれた防錆効果を発揮します。

2 ターペン希釈型

溶解力の弱い溶剤を使用し旧塗膜を侵すことが少ないため、活膜状態の各種旧塗膜に直接塗装が可能です。また、においがマイルドなため、周辺地域や作業者の環境にも配慮した塗料です。

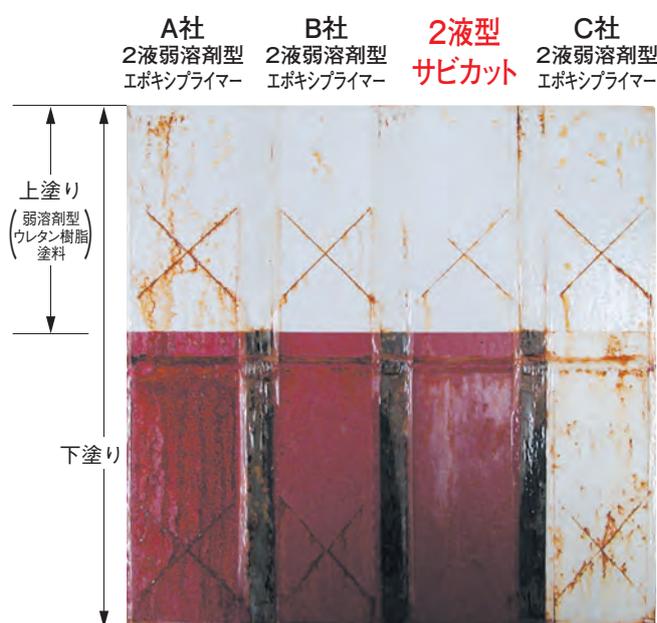
3 鉛・クロム化合物を使用せず、環境にやさしい

特殊防錆顔料の採用で鉛やクロム化合物を原料に使用していない環境対応型のサビ止め塗料です。

4 すぐれた塗装作業性

ハケ、ローラーやエアレス塗装の作業性にすぐれ、タレにくく、上塗り塗料の吸い込みが少ないので、美しい仕上がりが得られます。

防錆性比較試験



塩水噴霧試験400時間後

用途

- 屋内外の鉄鋼構造物、金属機器類の新設および塗り替え用下塗りとして。
- 亜鉛メッキ面、トタン、アルミ板、ステンレスの新設および塗り替え用下塗りとして。

弱溶剤系 変性エポキシ樹脂プライマー

性能

項目		2液型 サビカット	ロックエポキシ ハイプライマー	サビカット (1液型)
乾燥時間 (20℃)	指 触 乾 燥	1時間	40分	10分
	塗り重ね可能 <small>(弱溶剤塗料の場合)</small>	4時間以上7日以内 ^{※1}	8時間以上14日以内	4時間以上7日以内 ^{※2}
希 釈 シ ン ナ ー		塗料用シンナー	ハイプライマーシンナー	塗料用シンナー
防食性(耐塩水噴霧性)		◎	◎	○
耐アルカリ性 ^{※3}		○	○	×
付着性 ^{※4}	ダル鋼板(SPCC-SD)	100/100	100/100	100/100
	黒皮鋼板(SS-400)	100/100	100/100	100/100
	トタン板(JIS G 3302)	100/100	100/100	100/100
	亜鉛メッキ鋼板(HDZ45)	100/100	100/100	20/100
	ステンレス(SUS304)	100/100	100/100	100/100
	アルミニウム(JIS H 4000 A1100P)	100/100	100/100	100/100
	アルミニウム(JIS H 4100 A6063S)	100/100	100/100	100/100

※1 強溶剤型の上塗り塗料の場合、24時間以上(20℃)乾燥させてください。

(優) ◎>○>△>× (劣)

※2 弱溶剤の上塗り塗料のみ

※3 飽和水酸化カルシウム水溶液中に7日間浸漬。

※4 JIS K 5600-5-6 付着性(クロスカット法)試験法で、1mm間隔100個のます目の残存率。

付着適性

◇旧塗膜との適用性

種 類	弊社該当製品	適性
合成樹脂調合ペイント	ロックコート	○
フタル酸樹脂エナメル	タフコート	○
アクリル樹脂エナメル	—	○
塩化ビニル樹脂エナメル	—	○
塩化ゴム系塗料	—	○
金属製屋根、トタン用塗料	ロックタンペイント 1液ユメロックルーフ ユメロックルーフなど	○
弱溶剤二液型NADシリコン系樹脂塗料	ユメロック ハイパーユメロック	○ ^{*1}
建築用ポリウレタン樹脂塗料	ロックウレタントップ	○
弱溶剤二液型フッ素樹脂塗料	サンフロンUV	○ ^{*1}

注) ●旧塗膜は塗装後数年以上を前提としています。
●旧塗膜が塗料用シンナーで溶解する場合はちぢみを生ずることがありますので、試し塗りを行ってから使用してください。
●上記以外の適用性につきましては最寄りの営業所へお問い合わせください。

*1 表面あらしなどの前処理が必要。

◇適用性のある上塗り塗料

種 類	弊社該当製品	適性
合成樹脂調合ペイント	ロックコート	○
フタル酸樹脂エナメル	タフコート	○
アクリル樹脂系非水分散形塗料	エバーロック	○
トタン屋根用塗料	ロックタンペイント	○
弱溶剤二液型NADシリコン系樹脂塗料	ユメロック ユメロックルーフ ハイパーユメロック	○
建築用ポリウレタン樹脂塗料	ロックウレタントップ ^{*2}	○
弱溶剤二液型フッ素樹脂塗料	サンフロンUV	○

注) ●水性塗料は上塗りとして使用できません。
●2液型サビカットの乾燥が不十分な場合は、アミンブリードを起こすことがあります。
●F☆☆☆☆仕様の場合は、上塗り塗料もF☆☆☆☆の製品をご使用ください。(エバーロック、ユメロック、ハイパーユメロック、サンフロンUV)
●高日射反射率(遮熱)塗料で仕上げる場合、下塗り塗料は専用のプライマーをご使用ください。

*2 強溶剤型上塗り塗料の場合、24時間以上(20℃)乾燥させた後塗装してください。

使用方法

1 配合

- 2液型塗料のため、使用前に必ず主剤と硬化剤を次の割合で配合し、十分に混ぜ合わせてください。また配合後20～30分熟成時間をとってください。

061-7500番級 2液型サビカット 主剤	9部	:	1部	061-7910 2液型サビカット 硬化剤
------------------------	----	---	----	-----------------------

(重量比)

2 希釈

- 希釈には必ず塗料用シンナーを使用してください。
他のシンナーを使用しますと旧塗膜のちぢみやにじみの原因となることがあります。
- 希釈割合は主剤と硬化剤を配合した塗料100に対しておおよ次の通りです。

ハケ、ローラーの場合	エアレスの場合
0～5%	5～10%

(重量比)

(注) 塗装用具の洗浄には、ラッカーシンナーを使用してください。

3 乾燥時間

- 気温や天候状態、膜厚、素地の状態によって多少異なりますが、おおよ次の表のようになります。

気温	5℃	20℃	30℃
指触乾燥	2時間	1時間	30分
塗り重ね可能時間	8時間	4時間	3時間

- 上塗り塗装は硬化乾燥後、7日以内に行ってください。また夏場は被塗物温度が高くなりやすいため、上塗りとの塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。

4 可使時間

- 硬化剤を配合した塗料は、しだいに粘度が高くなり、やがて固化して使用できなくなりますので可使時間以内に使いきってください。また気温が高くなるにつれて可使時間は短くなりますので、特に夏場の高温時にはご注意ください。

気温	5℃	20℃	30℃
可使時間	約7時間	約5時間	約3時間

5 標準塗付量及び塗り面積(ハケ、ローラーの場合)

標準塗付量 (kg/m ² ・回)	0.13～0.15
塗り面積 (m ² /16kgセット・回)	106～123

※標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値で、被塗物の形状、素材、塗装方法などによって異なります。

種類と容量

品番	品名	容量	消防法分類	色	色調
061-7530	2液型サビカット 赤サビ色	14.4kg	2石		日塗工09-40L (近似)
061-7531	2液型サビカット グレー	14.4kg	2石		日塗工N-75 (近似)
061-7532	2液型サビカット ホワイト	14.4kg	2石		日塗工27-90B (近似)
061-7910	2液型サビカット 硬化剤	1.6kg	2石	—	(黄味の透明色)

※色票は印刷のため実際の色とは多少異なります。



標準塗装仕様

◆一般鉄部・亜鉛メッキ鋼板、アルミニウム、トタン板囲いなどの塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び 希釈率(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	標準膜厚 (μ・回)	塗り重ね可能 時間(20℃)
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、サビなどは電動工具、手工具で除去する。チョーキングした面、汚れ、じんあいなどはサンドペーパー、ウエス等で除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	061-7500番級 2液型サビカット 配合比 主剤:硬化剤=9:1	塗料用シンナー	ハケ・ローラー: 0~ 5 エアレス : 5~10	1	0.13~0.15	40	4時間以上 7日以内
上塗り① (弱溶剤シリコン 仕上げ)	114ライン ハイパーユメロック 配合比 主剤:硬化剤=9:1		ハケ・ローラー: 5~15 エアレス :10~20	2	0.11~0.13	30	2時間以上 7日以内
上塗り② (弱溶剤フッ素 仕上げ)	081ライン サンフロンUV 配合比 主剤:硬化剤=6.5:1		ハケ・ローラー: 5~15 エアレス :10~20	2	0.12~0.14	30	3時間以上 14日以内

※新設の一般鉄部に対する素地調整には、足場及び飛散防止シート(必要に応じ防音シート)を仮設し電動工具を主体として手工具を併用し、サビを完全に除去してください。日本道路協会素地調整程度「2種ケレン」、またはSIS St3。じんあい、水分、油脂分は完全に除去し、塗装しない箇所のマスクングをしてください。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などにより、多少異なる場合があります。

施工上の注意事項

- 塗る面のゴミ、油分、じんあいなどの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 主剤と硬化剤は粘度に差がありますので、混合時は均一になるように十分攪拌してください。
- 2液型サビカットの硬化剤は、アミンリード性の少ない主剤との相溶性にすぐれたアダクトタイプですが、塗装中および塗装後24時間は5℃以下にならない場所で使用し、また湿度が85%以上の場合は塗装を避けてください。
- たえず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 塗り重ね可能時間は20℃での時間となります。屋根部など通常温度が高くなると工程間隔が短くなり、上塗り塗料との付着性が低下して層間剥離を起こすことがありますので注意してください。このような場合、4時間乾燥させた後、あまり日数を置かず速やかに次の工程を行ってください。もし長期間経過した場合はサンドペーパーまたはパワーブラシで表面を研磨した後、脱脂等清浄な面とした上で上塗り塗装してください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装はさけてください。塗装後硬化不十分な時に水分があたると白化現象を起こします。上塗りとの付着が悪くなりますので、サンドペーパー掛け、シンナー拭きして白化の表層を取り除いてから上塗りしてください。
- 飛散防止のため、塗装しないところは十分な養生を行ってください。
- 素地が濡れている時は塗装を避け、乾いてから塗ってください。また、直射日光などで極端に熱くなっている時は、少し冷えてから塗装してください。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となることがあります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られない場合があります。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- 2液型サビカットの塗装を工場で行う場合、下塗り塗膜のみで長期間放置しておきますと塗膜が傷ついたり劣化したりしますので、被塗物の保管、運搬に注意し、すみやかに上塗り塗装してください。
- 先に塗りにくいところを塗ってから、また高い所から下の方に降り口を確保しながら塗装してください。塗りたての面は滑りやすいので、絶対に乗らないでください。塗り残しがあった場合も乾燥後に補修塗りをしてください。
- 作業時の安全には十分注意し、高所で作業する場合は安全ロープをかけて行ってください。
- トタンの折り曲げ部分、継ぎ目部分などは、膜厚が十分得られない場合がありますので、先に拾い塗りすることをお奨めします。
- 亜鉛メッキ鋼板の目付量が多い場合には、3~4ヶ月屋外放置後表面の光沢がなくなってから塗装してください。
- ドアパッキンや緩衝材など可塑剤を含むプラスチック製品に直接塗装すると塗膜が軟化することがあります。そのような箇所への塗装は避けてください。
- 塗装作業中及び塗膜を乾燥させる際には、十分に換気を行ってください。
- この仕様書はすべての工程においてホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を使用しています。F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素材も含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆仕様でなくなることがありますので注意してください。
- その他カタログに記載されていない素地及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥をおこすことがありますので、使用前に最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 有機溶剤を使用するため、施工、保管には十分に注意してください。
- 取扱い上の注意および安全衛生上の注意についての詳細は安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上及び取扱い上の注意

製品の危険・有害性

- 引火性の液体です。
- 有機溶剤中毒の恐れがあります。
- 大量又は継続的な暴露により重大な健康障害を引き起こす恐れがあります。
- 主剤、硬化剤とも感作性があり、皮膚に付着すると、カブレやアレルギーを引き起こす恐れがあります。
- 2液型サビカット(主剤)は、変異原性の恐れがある物質を含有しています。

取扱い注意事項

- 取扱いは引火源のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服、取扱いは避けてください。
- 取扱い作業所には、局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分に換気を行ってください。
- 溶剤蒸気やスプレーダストを吸入しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
- できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着等を着用してください。
- アレルギー体質の方は取り扱わないでください。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- 作業着等に付着した汚れをよく落としてください。
- 使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は、廃棄するまで水をはった容器に保管してください。
- よくフタをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 指定された以外の商品と混合しないでください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

救急処置

- 目に入った場合には直ちに多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

施工後の安全性について

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照ください。



ロックペイント 株式会社

東京営業部 / 〒136-0076 / 東京都江東区南砂2丁目37番2号	☎(03)3640-6000 FAX (03)3640-9000
大阪営業部 / 〒555-0033 / 大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号	☎(06)6473-1055 FAX (06)6473-1000
札幌営業所 / 〒003-0011 / 札幌市白石区中央一条4丁目3番48号	☎(011)812-2761 FAX (011)812-9304
仙台営業所 / 〒983-0044 / 仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号渡正ビル201	☎(022)349-8677 FAX (022)283-3255
西関東営業所 / 〒252-0131 / 神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号	☎(042)700-3111 FAX (042)700-3112
名古屋営業所 / 〒454-0059 / 名古屋市中川区福川町1丁目1番地	☎(052)351-6500 FAX (052)361-7433
岡山営業所 / 〒701-1134 / 岡山市北区三和1000番34	☎(086)294-1201 FAX (086)294-6966
福岡営業所 / 〒811-0119 / 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号	☎(092)962-0661 FAX (092)963-1241

ロックペイントのインターネットホームページ <http://www.rockpaint.co.jp>

- 本カタログの内容については、予告無しに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店：